

英語科学習指導案（2年2組）

1 単元 A Work Experience Program (PROGRAM 6 Sunshine English Course 2)

2 単元設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置付け（身に付けることができるように指導する事項）

[知識及び技能]

- ・(イ)文構造 b [主語＋動詞＋目的語] のうち(a)主語＋動詞＋to 不定詞
- ・(ウ)文法事項 g to 不定詞

[思考力、判断力、表現力等]

- ・ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

②単元の価値

本単元は、職場体験の話題を取り上げ、実際に生徒が職業を体験する場面から始まり、職業体験の感想や将来の夢へと話が展開される。単元を通して職業や将来の夢についての話題を扱うことを通して、自らの職業観や将来について考えを深め、それらについて自分の経験や体験と結びつけながら思いや考えを英語で表現する力を高めることができる。また、本校の生徒は昨年2月に職場体験を経験している。そのため、それぞれの生徒が自分の実体験を踏まえた表現をすることが可能であり、意欲的に表現活動に取り組むことができる。このような表現活動を通して、相手や目的に応じた表現方法について思考し、判断する力を養うことができる単元であるといえる。

新出の言語材料として、不定詞の副詞的用法や名詞的用法、形容詞的用法などについて学習する。不定詞のこれらの用法を身に付けることにより、自分のしたいことや行動の目的や理由を述べるができるようになり、自分の思いや考えをより深く表現することができる。また、不定詞を適切に用いて自分の思いや考えを表現することでコミュニケーションの幅が広がることを期待できるとともに、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することができる。

③単元の系統性

- ・小学校では、将来の夢について発表する活動を通して、職業に関する語彙や、I want to be ～を用いた表現を身に付けてきた。
- ・第1学年では、自己紹介や他者紹介活動を通して、自分自身や身近な話題について伝える内容を整理し、英語で表現する力を身に付けてきた。
- ・第3学年では環境問題や国際的な問題などを扱う活動を通して、より社会的な問題について事実や情報、自分の考えなどを伝え合ったり発表したりする力を身に付ける。

(2) 生徒観（男子17名、女子17名 計34名）

- ・知識及び技能について、職業に関する語彙や、I want to be ～を用いた文について意味を問う選択式の簡単なテストを実施したところ、34名全員が正しく解答できた。このことから、小学校で学習した表現が定着していることが分かった。しかし、同じ内容のテストを記述式で実施したところ、職業名を英語で書くことや、どのような職業なのか英語で説明することに課題があることが分かった。これは、小学校で音声として慣れ親しんできた職業に関する語彙を、文字として認識できていないことが原因である。
- ・思考力、判断力、表現力等について、これまでの日常的な話題や関心のある事柄について事実や自分の思いなどを伝える活動への取組や成果物を振り返ると、ある情報や事実などについて表現する活動では、聞き手や読み手を意識して具体例や既習事項を活用したり、図や写真などを使用したりするなどの工夫が見られた。しかし、ある話題について自分の思いや考えを表現する活動では、主張は明確に述べるができるものの、それを裏付ける根拠や理由などを十分に表現できていないことが分かった。これは、自分の思いや考えを表現する活動に対して苦手意識をもっている生徒が多く、聞き手や読み手へ十分な配慮ができていないことが原因である。

(3) 指導観

- ・ Can-do List を用いて単元の目標や、コミュニケーションの目的・場面・状況を生徒と共有することで、生徒が単元全体の計画や目標を理解し、各時間で最終表現活動での達成した姿を意識して学習を進めることができるようにする。
- ・ 教師や ALT が最終コミュニケーション活動のモデルを単元の導入時に示すことで、不定詞の使用によって自分の将来の夢やその理由をより深く伝えることができることに着目できるようにする。
- ・ 写真や絵、図などを使用して不定詞の働きや使用場面を把握することで、新出言語材料の使用場面を捉えることができるようにする。
- ・ 教科書の本文内容理解や音読練習をしたり、教科書の本文を用いて生徒自らの将来について考えたり、表現したりする活動を取り入れることで、新出言語材料の定着を図ることができるようにする。
- ・ 将来の夢について伝え合う上で使用される単語や表現を各時間の帯活動や表現活動を通して繰り返し練習することで、最終表現活動で伝え方を生徒自身が考え工夫できるようにする。
- ・ ペアやグループ活動で協働的に将来の夢について考えたり、伝え合ったりすることを通して、様々な考えに触れ、自分の思いや考えの根拠を問い直したり、深めたりすることができるようにする。
- ・ 各時間で学んだことを次時で意識して生かせるように、振り返りの際に本時の課題や個人の to do list を確認させることで、目標や課題を継続して意識できるようにする。
- ・ Can-do List を用いて目標に対する言語面と内容面の振り返りを行うことで、本単元を振り返り、できるようになったことや課題を確認し、次の単元への意欲につなげることができるようにする。
- ・ 単元終了後に留学生との交流授業を設定し、そこで実際に留学生に将来の夢について伝えさせることで、目標や課題の達成度を図ることができるようにし、さらに、次の単元以降の課題につなげることができるようにする。

3 単元の目標

将来の夢について考える活動や他者とのやり取りを通して、不定詞の用法を使い分けながら自らの思いや考えを表現することができる。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

5 本時の展開 (6 / 8)

(1) 目標

将来の夢について考えたり伝え合ったりする活動を通して、不定詞の副詞的用法を適切に用いながら、自らの思いや考えを表現することができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>○生徒同士で将来の夢などについて伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は名詞的用法を学習したので、それを使って表現してみよう。 ・I want to be a doctor in the future. 	<p>○将来の夢ややってみたいことなどについて会話させることで、本時の課題をつかむとともに、コミュニケーションへの意欲をもたせることができるようにする。</p> <p>○実際に交流する予定の留学生からのビデオを見せることで、留学生たちがどのようなことを知りたいのかを把握し、副詞的用法を使用することへの必要感をもつことができるようにする。</p>
<p>課題： どうしたら将来の夢に対する自分の思いを伝えることができるだろうか。</p>	
<p>2 様々な分野において活躍する人たちの情報を読んで内容を理解する。</p> <p>○個人で情報を読んだ後、グループで自分もっている情報について伝え合い共通点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰かのために」という思いが共通しているな。自分の発表の中にも取り入れてみよう。 	<p>○様々な分野において活躍する群馬出身の人たちの生き方を提示することで、自分の将来の夢につなげて深く考えることができるようにする。</p> <p>○「誰かのために」という共通した思いに気付かせることで、将来の夢について内容を深めることができるようにするとともに、不定詞の副詞的用法についてもおさえ、言語面でも深められるようにする。</p>
<p>3 将来の夢について考え、やりとりをする。</p> <p>○将来の夢について話す準備をする。</p> <p>○ペアで将来の夢についてやり取りする。</p> <p>○代表生徒の発表を聞き、全体で共有する。</p>	<p>○相手に伝える内容をメモで整理する時間を取ることで、学習活動2で得た情報を精査して自分の発表に取り入れることができるようにする。</p> <p>○異なるペアでやり取りを繰り返すことで、伝える順番や内容を再構築できるようにする。</p>
<p>【思考・判断・表現】 将来の夢について考えを深めたり、不定詞の副詞的用法を用いて自らの思いを表現したりすることができる。 (観察、ワークシート)</p>	
<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>○将来の夢について友達とやり取りした内容を英作文でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I want to be a doctor to help my grandmother. My grandmother is sick and her doctor helps her a lot. I want to help her and many people like him. <p>○Can-do List を用いて本時の振り返りをする。</p>	<p>○英作文につまずいている生徒については、辞書を使用させたり板書などを参考にして真似させたりすることで自分の思いや考えを表現できるようにする。</p> <p>○Can-do Listを用いて言語面と内容面での振り返りをすることで、最終コミュニケーション活動に向けた見通しや今後改善すべき点を確認し、次時以降の意識づけになるようにする。</p>
<p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞的用法を使うことで、将来の夢について理由や自分の思いをより深く表現することができたな。留学生との交流では、ただ単に将来の夢を伝えるのではなく「誰のために」「何のために」その夢を目指しているのかを伝えたいな。 	

<「思考力、判断力、表現力等」育成のための具体的な手だて>
 Can-do Listを基にした目的・場面・状況等に対する言語面と内容面の振り返り

指導と評価の計画 英語科 2年 単元「Program 6 A Work Experience Program」 (全8時間計画)

目標	将来の夢について考える活動や他者とのやり取りを通して、不定詞の用法を使い分けながら自らの思いや考えを表現することができる。				
評価規準	<p>【知識・技能】 不定詞や職業に関する語彙についての知識を身に付け、それらを実際のコミュニケーションの場面で活用することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 将来の夢について伝える内容を整理し、話したり書いたりして自分の思いや考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 将来の夢について、伝える内容をより深いものにするために意欲的に学習や活動に取り組もうとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価 (方法・観点)
つかむ	1	<p>◎留学生に将来の夢について詳しく伝えるためには、どのような内容にすればよいか考えることができる。</p> <p>どうしたら将来の夢について詳しく伝えることができるだろうか。</p>	<p>○留学生からのビデオメッセージを紹介し、単元の課題を把握する。</p> <p>○前単元での学習内容や振り返りを基に、本単元での目標を設定する。</p>	<p>☆詳しく伝えるためには、自分が興味のあることや将来のために今がんばっていることなどを伝えるとよいのだな。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 将来の夢について相手に詳しく伝えるために、内容を考えることができる。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
追究	4	<p>◎不定詞についての知識を身に付け、それらを将来の夢について伝え合う中で活用することができる。</p> <p>将来してみたいことについてどのように表現したらよいだろうか。</p> <p>将来の夢を目指すために必要なことについてどのように表現したらよいだろうか。</p>	<p>○教科書本文の内容理解やパターンプラクティスを通して、不定詞の使用場面や働きを理解する。</p> <p>○不定詞を使用したコミュニケーション活動に取り組む。</p> <p>○詳しく分かりやすい内容になるように、聞き手の立場に立って表現や構成を工夫する。</p>	<p>☆不定詞の名詞的用法は、自分のしたいことを表現するときに便利な表現なのだ。将来の夢そのものを表すのに使えそうだな。</p> <p>☆不定詞の形容詞的用法を使って将来のために必要なことについて触れると、より詳しい内容になりそうだな。</p>	<p>【知識・技能】 不定詞の働き(名詞的用法・形容詞的用法)を理解したり、正しい場面で使用したりすることができる。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
すすめる	1(本時)	<p>◎将来の夢について考えたり伝え合ったりする活動を通して、不定詞の副詞的用法を適切に用いながら、自らの思いや考えを表現することができる。</p> <p>どうしたら将来の夢に対する自分の思いを伝えることができるだろうか。</p>	<p>○生徒同士で将来の夢について伝え合う活動を通して、将来の夢に対する思いや考えをより深く表現する。</p>	<p>☆不定詞を使うことで、将来の夢について理由や自分の思いをより深く表現することができた。留学生との交流では、ただ単に将来の夢を伝えるのではなく「誰のために」「何のために」その夢を目指しているのかを伝えたいな。</p>	<p>【思考・判断・表現】 将来の夢について考えを深めたり、不定詞の副詞的用法を用いて自らの思いを表現したりすることができる。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
まとめる	1	<p>◎友達とのやり取りを通して、留学生との交流に向けてより内容や伝え方を改善することができる。</p> <p>留学生にとって分かりやすく伝えるためにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>○生徒同士で将来の夢について伝え合う活動に取り組み、アドバイスをする。</p>	<p>☆相手に興味をもってもらうためには、内容だけではなく、話し方や目線などの工夫も必要だな。</p> <p>☆留学生にとって馴染みのない職業は、もっといいねいな説明が必要だな。</p>	<p>【思考・判断・表現】 留学生との交流に向けて、内容を工夫したり改善したりすることができる。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
まとめる	1	<p>◎将来の夢について伝え合ったり、聞いたりしたことを基に英作文でまとめることができる。</p> <p>将来の夢について相手に深く、分かりやすく伝えよう。</p>	<p>○留学生と将来の夢について伝え合ったり、聞いたりしたことを英作文でまとめる。</p>	<p>☆将来の夢について相手に分かりやすく伝えるためには、話の流れや情報を整理してまとまりのある内容で表現することが大切なのだ。</p>	<p>【思考・判断・表現】 不定詞や職業に関する語彙を適切に使いながら、将来の夢について表現することができる。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>